



都民ファーストの会東京都議団の要望

高齢ドライバー急発進の 防止装置9割補助を実現!!

自己負担1割で、アクセル・ブレーキの踏み間違いを防止する装置の普及を進めます。

都民ファーストの会東京都議団は、本年4月26日、小池百合子東京都知事に宛てて「高齢運転者の交通事故防止対策に関する要望書」を提出、加えて、6月11日の都議会令和元年第2回定例会の代表質問で、高齢ドライバーの安全対策について都の対応を重ねて要望してまいりました。

4月19日に豊島区で87歳のドライバーが起こした2名が亡くなる事故を始め、多発する高齢ドライバーの事故が大きな社会問題となっています。高齢ドライバーによるアクセルとブレーキの踏み間違い事故を防止するため迅速な対応が必要になります。都では高齢者の安全運転装置設置への補助を開始します。

都民ファーストの会東京都議団の 高齢運転者の交通安全対策を求める

質問要旨

高齢運転者の交通安全対策は、都が先頭に立ち迅速にその解決の道筋をつけるべき。新たに設定されたプロジェクトチームにおいて可及的速やかに検討し、実効性ある対策を実施すべき。



都民ファーストの会東京都議事団による代表質問

その ↓ 結果

高齢者安全運転支援装置 補助制度開始

対象者

都内在住で、令和元年度中に
70歳以上となる運転者

負担割合

1割 (4,000円~1万円程度) <令和2年8月31日まで>

相談・受付開始日

令和元年7月31日(水)



都民ファーストの会東京都議団の質問に答える小池都知事

75歳以上で死亡事故が急増

※自己負担1割でアクセルブレーキの踏み間違いを防止する装置の普及を進めます。

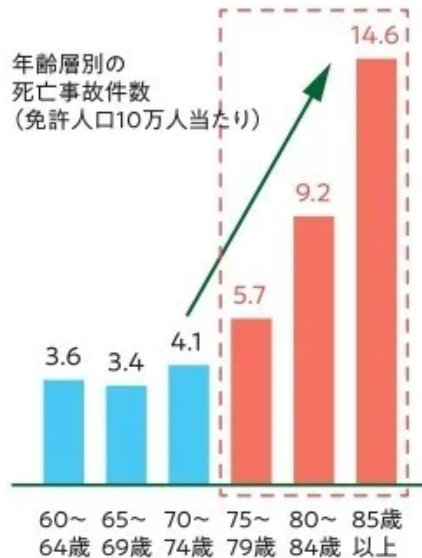
交通事故による死者数は大きく減少しているが…

昭和45年●16,765人

↓
平成4年●11,452人

↓
平成29年●3,694人

※75歳以上運転手によるもの418人
高齢人口の増加に伴い割合が増加



- ・安心して運転できる技能補助
- ・運転しなくても不自由しない移動の代替手段



都民ファーストの会東京都議事団の要望を受けた都の緊急対策

- ・急発進防止装置の普及
- ・庁内プロジェクトにて追加の施策を検討

※警視庁交通局発表「平成29年における交通死亡事故の特徴等について」より

設置を希望する皆様へ

相談から設置・支払いまでの流れ

- 装置の購入・装置を希望する高齢運転者は、
取扱い事業者の店舗に相談
- 店舗で、車の状態や要件について確認を受け、設置日を予約
- 予約日に、本人が来店し申込書等を提出
- 店舗にて本人確認のうえ装置販売・設置、使用方法を説明
- 本人は個人負担分の金額を店舗で支払い

事業者の皆様へ

取り扱い事業者受付中

補助金の取り扱い事業者については現在も継続して受付中です。既に対象となっている事業者については都のホームページで公開されます。申込み等の詳細については、以下の東京都都民安全推進本部のホームページをご確認ください。手続等の詳細に関しては、東京都都民安全推進本部 総合推進部 交通安全課までお問い合わせください。

東京都へのお問い合わせはこちらへ!



東京都都民安全推進本部 総合推進部 交通安全課

電話：03-5321-1111(内)21-799

高齢者安全運転支援装置設置促進事業補助金

<http://www.tomin-anzen.metro.tokyo.jp/kotsu/kakusyutaisaku/koureisha/hojokin/>

東京都高齢者安全運転支援装置設置補助制度 スキーム

